第 8 講 【系統地理編】工業

PART 5 世界と日本の工業

Chapter 1　世界の工業

目標　国の中心となる工業の種類と，1 人当たり GNI の関連を理解しよう。
BRICS の経済成長の要因を知ろう。

1　工業付加価値額と1人当たりGNI

・工業の種類（**軽工業・重化学工業・先端技術産業**）ごとに，**工業付加価値額**は異なる。
→**軽工業**では付加価値額は〔　　　　〕，**先端技術産業**は〔　　　　〕。
→国内で発達する工業の種類と，**1 人当たり GNI** は関連を持つ。
・**先進国**では，**知識集約型**の産業（先端技術産業や知識産業）が発達。
→高度な**技術**や**知識**を利用した付加価値の高い工業製品を多くつくり，**1 人当たり GNI** が〔　　　　〕なる。
・**発展途上国**では，**軽工業**や**機械組立工業**のような**労働集約型工業**が盛ん。
→付加価値が低く，**1 人当たり GNI** は〔　　　　〕なる。

2　各地域の工業化

1. **先進国の工業化**
・産業革命期以降，**ヨーロッパ・北アメリカ**などで工業化が進み，市場に近く労働力も豊富な**都市部**では**軽工業**が，**資源産地付近**では〔　　　　〕**業**などの**重工業**が発達した。
・やがて 20 世紀に入ると外国からの資源輸入に適した〔　　　　　　〕に**鉄鋼業**や**石油化学工業**が立地。さらに，それらに接して**機械工業**が発達した。
・現在では，高度な技術による**先端技術産業**や〔　　　　　　　　〕が発達している。
→かつての工業地域では，工場の撤退により，**産業の空洞化**の問題も生じている。

2. アジアの工業化

・1950 ~ 60 年代，**東アジア**で工業化が進展。日本では高度経済成長期，中国では計画経済による生産活動が行われた。1970 ~ 80 年代に**韓国・台湾・ホンコン・シンガポール**が〔　　　　　　〕**型の工業化**に成功して，大きく経済成長を遂げる。〔　　　　　　　　〕と呼ばれる。

・**韓国**：重化学工業が発達し，鉄鋼・**自動車・船舶**の生産規模が大きい。

・**台湾**：現在，**半導体**をはじめ**電子部品**の世界的な供給国となっている。

<アジア NIEs の 1 人当たり GNI・主な輸出品目>

国・地域	人口（万人）	1 人当たりGNI（ドル）	主な輸出品目
韓国	5,127	33,790	機械類，自動車，石油製品，**船舶**
台湾	2,382	26,514	機械類，**精密機械**，金属製品
ホンコン	750	50,480	**機械類**，金，精密機械
シンガポール	585	58,390	**機械類**，石油製品，精密機械

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成。）

3. BRICS の工業化

・**BRICS**：〔　　　　　　〕，〔　　　　　〕，**インド**，**中国**，**南アフリカ共和国**の新興工業国の総称。広い国土，豊富な人口と資源が経済発展の基盤となっている。

・20 世紀末までに**輸出指向型工業**へと転換し，外国に対して**市場開放**した。21 世紀に入り，経済政策の奏功や先進国からの投資もあり，急激な工業化と経済成長を遂げている。

< BRICS の 1 人当たり GNI・主な輸出品目>

国・地域	人口（万人）	1 人当たりGNI（ドル）	主な輸出品目
中国	143,933	10,390	機械類，**繊維**・織物，衣類
インド	138,000	2,120	機械類，石油製品，医薬品
ブラジル	21,256	9,270	**大豆**，**鉄鉱石**，原油，肉類，機械類
ロシア	14,593	11,250	**原油**，石油製品，鉄鋼，石炭
南アフリカ	5,931	6,040	**白金**，自動車，金，機械類

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成。）

まとめ

知識産業が発達した国では 1 人当たり GNI が高く，軽工業が中心の国では低い。

広い国土と豊富な人口，資源を持つ。市場開放を行い，経済成長を遂げた。

Chapter 2　日本の工業

目標　高度経済成長期に発展した自動車工業は，その後どのような展開を迎えたか，理解しよう。
現代の日本では，どのような工業が発達しているか理解しよう。

1　日本の工業化

1. 工業化の始まり（20 世紀初頭）

・20 世紀初頭，〔　　　　　　　　〕**地帯**（**京浜**・**中京**・阪神・北九州）を中心に，**工業化**が始まった。

・阪神工業地帯の〔　　　　〕工業など，**軽工業**が中心。北九州では，一部鉄鋼業も。

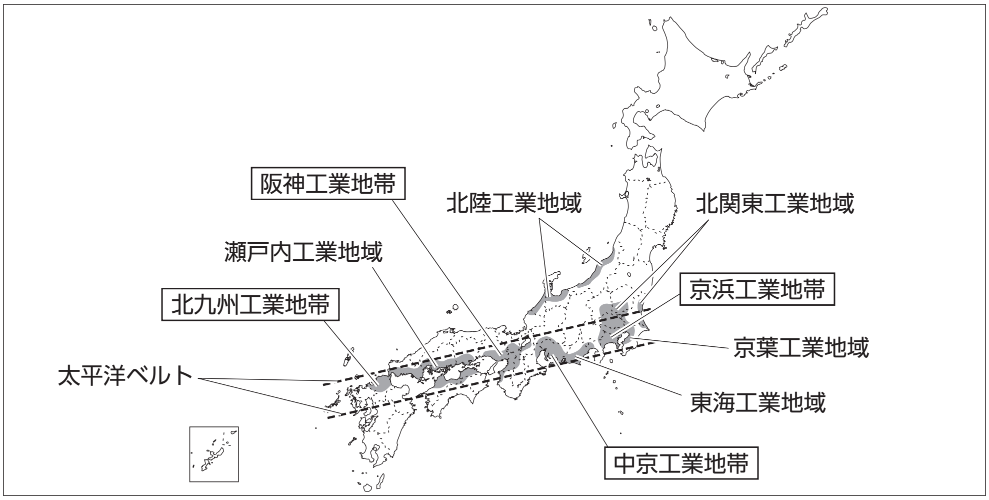
2. 工業の発展（高度経済成長期）

・1960 年代頃には，技術の向上・資本力の増大を受け，軽工業から〔　　　　　　〕**工業**へ転換が進む。

→資源を大量に要する〔　　　　〕**業**・**石油化学工業**では，臨海部を中心に**製鉄所**や**石油化学コンビナート**がつくられた。

→多くの労働力を要する**電気機械工業**・〔　　　　　　〕**工業**などは，**大都市圏周辺**に工場がつくられた。

→**四大工業地帯**の周辺で工業化が進み，〔　　　　　　　　　　　〕が形成された。



日本の工業地域

3. 自動車工業の興隆と工場の海外移転（1970 ～ 80 年代）

・1970 年代に入ると，**オイルショック**による資源価格高騰により〔　　　　　〕の生産は停滞。

・**機械工業**は，技術の発展を背景にさらに成長。特に低燃費･高性能の〔　　　　　　〕は，海外でも人気が高く，生産・輸出が拡大した。

→ 1980 年代には世界最大の**自動車生産国**となり，ヨーロッパや**アメリカ合衆国**への輸出も拡大。〔　　　　　　　　〕が問題となったため，〔　　　　　　　　〕を開始。

・1980 年代以降，円高の進行・国内の賃金水準の上昇を受け，労働集約型工業の工場の海外移転が本格化。**東南アジア**（マレーシア・タイ），のちに**中国**への進出も増加。同時に，国内の**産業の空洞化**が問題となった。

4. バブル経済の崩壊と合理化（1990 年代～）

・経済の不安定化から購買力の低下・国内市場の行き詰まりが生じ，経済発展の著しい**アジア**に注目して市場を広げる企業も出現。

・国内では，安価な外国製品の流入に対抗すべく，製造業を中心にさらなる**合理化**を進めた。

2　現代日本の工業

・21 世紀に入り，日本は〔　　　　　　　　〕化を進め，**先端技術産業**や**知識産業**が発達。

・大企業による研究開発だけでなく，**ICT 産業**やコンピュータソフト・ゲーム・アプリの開発などで，より革新的な事業展開を目指す〔　　　　　　　　　〕企業も出現した。

・知的財産使用料や特許料で利益を得る**技術貿易**も活性化している。

まとめ

輸出が増加し，アメリカ合衆国などと貿易摩擦が発生したため，現地生産を開始した。

知識集約化が進展し，先端技術産業や知識産業が発達。

第 8 講　PART 5　確認問題

1　工業付加価値額と 1 人当たり GNI について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 現在の 1 人当たりの工業付加価値額は，発展途上国で大きく，先進国で小さい。
② 知識集約型産業が発達している先進国では，1 人当たり GNI が高くなる。
③ 軽工業が盛んである発展途上国では，1 人当たり GNI が低くなる。
④ 中心となる工業の種類と 1 人当たり GNI は，大きな関連を持つ。

2　先進国の工業化について述べた以下の文のうち，正しいものはどれか。

① 19 世紀半ばからのエネルギー革命以降，ヨーロッパでは工業化が進んだ。
② 市場に近く労働力が得やすい都市部では鉄鋼業が発達した。
③ 鉄鋼業や石油化学工業は，労働力を求めて大都市一帯に移動した。
④ 工場が安価な地域へと移転した結果，産業の空洞化の問題が生じている。

3　アジア NIEs のうち，半導体をはじめ電子部品の世界的な供給国となっている国または地域はどこか。

① 韓国　② シンガポール
③ 台湾　④ ホンコン

4　BRICS に含まれる国はどこか。

① アルゼンチン　② トルコ
③ メキシコ　④ 南アフリカ共和国

5 日本における工業化の開始について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか

① 20 世紀初頭に工業化が始まった。
② 日本の工業化は，四大工業地帯で始まった。
③ 四大工業地帯とは，京浜・東海・阪神・北九州を指す。
④ 阪神工業地帯では繊維工業など軽工業が中心であった。

6 日本の工業の発展について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 1960 年代頃に入ると，軽工業から重化学工業へ転換が進み始めた。
② 内陸部を中心に石油コンビナートが次々と建設された。
③ 自動車工業は労働力が豊富な大都市圏周辺において発達した。
④ 四大工業地帯の周辺で工業化が進み，太平洋ベルトが形成された。

7 1970 年代のオイルショックによる資源高騰で特に大打撃を受けた工業はどれか。

① 自動車工業　② 食品加工業
③ 繊維工業　④ 鉄鋼業

8 1980 年代以降の日本の工業について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 1980 年代には，自動車の輸出をめぐってアメリカ合衆国などと貿易摩擦が起こった。
② 1980 年代には，海外への工場の移転が本格化し，韓国への工場進出が相次いだ。
③ 1990 年代には，安価な外国製品の流入を受けて，国内の製造業の合理化が進んだ。
④ 21 世紀に入ると，日本の工業はさらに知識集約化を進め，先端技術産業や知識産業が発達した。

第 8 講　PART5　確認問題　解答

1 解答：①

現在の 1 人当たりの工業付加価値額は，**先進国で大きく，発展途上国で小さい**。これは先進国においては工業付加価値額の高い先端技術産業などが発達しているからである。

2 解答：④

人件費などが安価な地域へと工場が移転すると，それまでの工業地域に**産業の空洞化**が生じる。①は誤文。18 世紀半ばからの産業革命以降，ヨーロッパでは工業化が進んだ。②も誤文。市場に近く労働力が豊富な都市部で発達するのは軽工業。③も誤文。先進国の鉄鋼業や石油化学工業の工場は，資源の輸入に便利な臨海部に移動した。

3 解答：③

台湾は機械類や精密機械の輸出が多く，現在，半導体をはじめとする電子部品の世界的な供給国となっている。

4 解答：④

BRICS はブラジル，ロシア，インド，中国，**南アフリカ共和国**の，それぞれの頭文字をとった呼称。

5 解答：③

日本の四大工業地帯とは，**京浜・中京・阪神・北九州**である。

6 解答：②

石油に恵まれない日本において石油コンビナートが建設されたのは，資源の輸入に便利な**太平洋ベルト**など**臨海部**である。

7 解答：④

輸入の石油に大きく依存していた日本では，2 度のオイルショックで**鉄鋼業**，アルミニウム工業などが衰退した。

8 解答：②

日本では，1980 年代には，安価で豊富な労働力を目的に海外への工場の移転が本格化した。**タイ，マレーシア**，その後，**中国**へ進出した。